

# 「学長梅酒」深い味わい

## 愛教大発売 就任PRも

刈谷市の愛知教育大キャンパスで採れた梅の実を原料の一部に使った本格梅酒「愛教大『学長 梅酒』」が六日に発売された。七百八十本限定。

野田敦敬学長(六三)をはじめ、大学職員三十人が昨年六月、構内に自生する十本ほどの木から六十五キの実を収穫。状態の良い物を選別し、協力する醸造会社「相生ユニビオ」(西尾市)の碧南市内にある蔵に運んだ。職員はへた取りや洗浄、つけ込みも手伝った。

三河地方の企業との産学連携の一環で、愛教大は二〇一七、一九年にも梅酒を発売している。雑味や濁りをあえてこさず、梅本来の味と香りを残した無ろ過の原酒を使用。今回は初めて、ウイスキーを貯蔵する

① 梅の実を収穫する職員たち  
② 販売が始まった梅酒をPRする職員  
＝いずれも刈谷市の愛知教育大で(同大提供)



のに使う内部を焙煎したた  
るで貯蔵し、味の深みと香  
ばしさを追求した。野田学  
長は昨年四月に就任。新型  
コロナウイルス感染拡大の  
影響であいさつ回りにも出  
づらい状況が続く、梅酒で  
就任をPRする案が学内か  
ら上がったことが商品名の  
由来。愛教大総務課の職員  
は「甘くて口当たりが良  
く、飲みやすい味に仕上が  
った。この梅酒を通し、新  
学長が就任したことも皆さ  
んに知ってほしい」と話す。  
五百<sup>リットル</sup>、千八百四十八  
円(税込み)。アルコール  
分19%。愛教大生協、酒販  
店「酒のすぎた」(岡崎市)  
の県内全店、刈谷ハイウェ  
イオアシス産直市場で取り  
扱っている。☎生協(平日  
のみ) 〓0566(26)27  
04 (神谷慶)

